

OKURAYAMA JAZZ HOLIDAY

大倉山ジャズホリデー

1回目2回目は、1時間程度の同プログラムのコンサートを予定

3/8 土

<1回目>
開演13:00

<2回目>
開演15:00

※各回開演30分前開場

スタンダードジャズを愉しむ

竹内直スペシャルカルテット



竹内直(T.Sax.)



後藤浩二(Pf.)



井上陽介(Cb.)



大坂昌彦(Drs.)

3/9 日

<1回目>
開演13:00

<2回目>
開演15:00

※各回開演30分前開場

ブラジル生まれボサノバを愉しむ

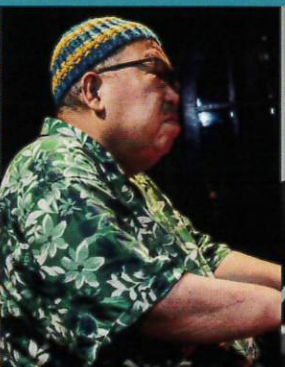
A Nata Da Bossa



Francis Silva(Perc.Vo.)



Robson Correa Do Amaral (Gt.Vo.)



高橋佳作(Pf.)



亀山アキラ(E.Ba.)

場 所 横浜市大倉山記念館ホール

東急東横線「大倉山駅」下車徒歩7分

駐車場はございませんので公共交通機関をご利用ください

入場料 【前売り】2,500円 【当日】2,800円

※前売り券は大倉山記念館窓口のみで販売

【高校生以下】1,500円

◀ご予約・お問い合わせ▶

横浜市大倉山記念館窓口または、
お電話 ☎045-544-1881

お電話でのご予約を承りますが、演奏会当日お支払い
の場合は、当日券のお値段になります。ご注意ください。

◀チケット発売開始▶

2025年1月14日(火)10時より

主催：横浜市大倉山記念館



竹内直スペシャルカルテット

竹内直(T.Sax.)

1977、1986年にニューヨークに滞在。
Jazz Center of NewYorkに自己のバンドで出演。
帰国後、エルビン・ジョーンズ(ds.)・ジャパニーズ・ジャズマシーンに参加。
フレディ・ハバード(tp)と共演。
1991年、ブラジルに渡りリオデジャネイロでサンバやボサノバを吸収する。
2002年には山下洋輔ユニットの一員としてヨーロッパ・ツアーを敢行。
2002年、来日したビル・クリントン前米国大統領の歓迎晩餐会でサキソフォニアのメンバーとして、メイン・ステージを務め、クリントン氏から賞賛される。
2008年、セネガルに滞在し、世界的打楽器オーケストラのドゥ・ドゥ・ンジャイ・ファミリーと親交を深める。
2008年、天河神社にて奉納演奏。
2019年、ドキュメンタリーMVが「International peace & Film Festival 2020」のオフィシャルセレクションに選ばれる。
リーダーアルバムとして最新作「バード」を含む11枚をリリース。
現在、ジャズフェスティバル、野外コンサート、全国のライブハウスなどで演奏させていただいています。
NHKセッションなどのFM番組にも、出演多数。
<http://takeuchinao.com/>

井上陽介(Cb.)

1964年7月16日、大阪生まれ。
大阪音楽大学作曲科卒。
91年よりニューヨークを拠点に活動。
97年には初リーダーアルバム「スピークアップ」をリリース。
在米中、ドンフリードマン、ハンク・ジョーンズなどの数々のグループでのレコーディング、ライブハウス、ヨーロッパツアーでの演奏など国際的に活動。
2004年には活動の拠点を日本に移す。
2009年、小曽根真、渡辺香津美などをゲストに迎え録音した6枚目のリーダー作となる「LIFE」をリリース。
2024年2月に武本和夫(P)濱田省吾(Ds)とレコーディングした自身11枚目のリーダー作でトリオ第3弾「One Step Beyond:Live At Body&Soul」をリリース。
2022年、Spirit of Chick Corea Bandでスティーブ・ガッド氏とツアーで共演。なお2007年度から3年連続スイングジャーナルの人気投票では1位など常に上位にランクされる。
現在、自己のグループ他、塩谷哲、大西順子、渡辺香津美、古澤巖&山本耕史 Dandyism Banquetのレギュラーメンバーとして活動の他、数々のセッションに参加し日本のみならず海外でも精力的に活動。
ジャズのみならず、佐藤竹善、JUJU、小野リサなどの様々なジャンルのサポートでも活動。
NHKの朝ドラ「カムカムエブリバディ」などの劇番にも多く参加。

後藤浩二(Pf.)

1973年名古屋生まれ。
父親の影響で4歳よりクラシックピアノを始め、南山大学入学と同時にジャズに傾倒、在学中より演奏活動を開始。
2004年には小曽根真プロデュースによる、伊藤君子(Vo)のアルバム『一度恋をしたら~Once You've Been In Love』に4曲参加。
2007年、Harvey Mason(ds.)、Larry Grenadier(b.)とニューヨークで制作されたアルバム『hope』は大きな話題となった。
2015年ソロピアノによるアルバム『La Rencontre~めぐり違い~』を発表。
2019年、the EROSの2ndアルバム『Warm Feelings』を発表。
2019年6月、Mr.Childrenのレコーディングに『Documentary Film『Others』の2曲参加する。
2021年9月、情家みえ(vo.)とのユニット『みえこうじ』に本川悠平(b)を迎えアルバム『the Rest Of Your Life』を発表、全国ツアーを行う。
2023年5月と7月、情家みえ(vo.)とのユニット『みえこうじ』のアルバム『Something Big』を発表、全国ツアーを行う。
2023年11月、8年ぶりになるソロピアノによるアルバム『時刻~With the Passage of Time』を発表する。
2024年4月、Linda Purl(vo)Japan Tour2024に参加する。
名古屋を拠点に国内外で精力的に演奏活動・作曲活動を続けている。
kojisoto.web.fc2.com/

大坂昌彦(Drs.)

洗足学園音楽大学客員教授。
日本ソリウム協会認定ワインエキスパート。
ヤマハドラム、ジルジャンシンバル・エンドーサー。
1986年奨学金を獲得しパークリー音楽大学に留学。
在学中にデルフィーヨ・マルサリスのバンドに在籍し全米各地のジャズフェスに出演。
1990年に帰国。
トランペット、ロイ・ハーグローブとのコラボアルバムはアメリカでも好評を博す。
ジャズ専門誌スイングジャーナルで16年間、ドラム部門人気投票1位に選ばれ続けた。
3作目のリーダーアルバム『Walkin' Down Lexington (キングレコード)』はスイングジャーナル誌で制作企画賞を受賞する。
4枚目のアルバム『Cross Fade (キングレコード)』録音時には MBS放送でドキュメンタリー番組を制作。
プロデュース作も多く『Jazz Cinema Paradise (キングレコード)』は2015年のハイレゾ配信サイトe-onkyoにて長期間1位にランクされ、業界の話題となる。
続く『Jazz Cinema Fantasy』がジャズジャパン・アワードを受賞。
2018年、9作目のリーダーアルバム『Tricollage』(キングレコード)を発表。
2004年、2006年と「東京ジャズ」に出演。
2006年上海ジャズに出演。
2011年、2019年台中ジャズに出演。
2019年北京ドラムフェスティバルに出演。
デブ・ウェックルを始めとする、世界のスタッドラマーと競演。
2020年ジャズとワインのマリアージュに挑戦したCD『The Days Of Wine And Roses』をリリース。
現在までに200枚に及ぶジャズアルバムに参加している。

A Nata Da Bossa

Francis Silva(Perc.Vo.)

ブラジルサンパウロ出身。
アフロ・ブラジル・スピリチズムの中で育ち、幼少よりパーカッションリストとして演奏活動始める。
17歳からプロとして活動を始め、ソニー・ロリンズ、スタン・ゲッツ、アイアート・モレイラ、タニア・マリア、フローラ・プリムなど数々の有名ミュージシャンと共演し国際的活動を行う。
また活動中にパークリー音楽院に入学。
自身のルーツを研究し、ジャズミュージシャン達との連日連夜のセッション生活をするが、ステージでの演奏活動に専念したい気持ちを抑えきれず1コースで同校を退学。
パーカッションリストとしての活動を再開する。
1979年に日本をベースに活動する事を決意。
「ブラジル文化と日本人の人々を繋ぐ事」と「サンバを日本の文化にする事」を目指し、アジア地域では初の母国語(日本語)を主体としたエスコラ「エスコラ・ジ・サンバ・クルセイロ・ド・スウウ」を創設、日本のサンバの礎を築いた。
現在も日本のブラジル音楽の父として熱心な活動を続けている。
その他の活動として、土岐英史、松岡直也、マルシア、スマップ、マルタ、ジャック・リー、阿川泰子、渡辺真知子など数多くのミュージシャンと共演。
ジャンルを問わず幅広く活動を行っている。
2009年3月自身の根幹であるアフロ・ブラジル文化(歌・踊り・楽器)を日本に広める事を目的としたアカデミー「Mukade Brasil」を創設。
日本にブラジル文化を広める為に日々奮闘中。

高橋佳作(Pf.)

ジャズ&ラテンピアニスト。
1978年から3年、徳山陽氏にピアノを師事。
その後、1970年代に2年間単身ニューヨーク、アドルフ・サンドルフ氏にピアノを師事。
帰国後はジャズ、ロック、ブラジル、数々のバンドで演奏。
フランシスシルバ、ホブソンアマラル各氏との長い付き合いが始まる！世界的ベーシスト、ルイザン・マイア氏とのライブ出会いから深くブラジル音楽に入る。
活動歴にアンリ菅野、小野リサ、パメラ・マッカーシー、マルコ・ボスコ、マーティンレイシー、ベロニカ・サビーノ、フィロマシャド、セルソ・マシャド、ケイリラ、マウリシオマエストロなど。
国内外問わず多数のミュージシャンとの録音、演奏に参加している。

Robson Correa Do Amaral (Gt.Vo.)

ブラジル・リオデジャネイロ出身。
20才の時、ヴィラ・ロボス音楽学校でフルートを学んだ後、リオのリゾートホテルのディナーショーやライブハウスを中心に演奏活動始める。
1986年リオのテアトロカタエル劇場ではセイス・イ・メイヤ共演し、フルートとパーカッションを務めた。
1991年ブラジル料理&ショーの火付け役となった、渋谷のシュハスコ・レストランのオープンをきっかけに「BANDA BACANA」のメンバーとしてNilza Cavalhoらとともに来日、1993年にはCDをリリース。
1995年独立後、全国各地のイベント、コンサート、テレビ番組への出演、CMソングなど活躍は多岐にわたる。
また、ホベルト・メネスカル&ワンダ・サーが来日した際のショーでは専属でパーカッションを務めた。
現在、ボサノヴァ、サンバ、MPBなどのブラジル音楽を中心にライブハウス、イベントなどでギター弾き語りを中心として活動。
最近では小野リサのツアーメンバーとしてパーカッション&コーラスで参加。

亀山アキラ(E.Ba.)

エレクトリックベース奏者。
兵庫県出身、イギリス・リーズ音楽大学ジャズ&ライトミュージック科卒業。
在学中にベース1本でヨーロッパ各地を回り、路上演奏を繰り返す。
帰国後はおもにジャズ・フュージョンとブラジル音楽の分野を中心に演奏活動を行い、一方でアメリカンロックやJ-POPなどのサポートも広くこなす。
おもな共演ミュージシャンは野呂一生、和泉宏隆、T-Square、斉藤由貴、小野リサ、Ricardo Bacelar、Netto Pioなど。
また、CMや企業PVの音楽制作を手がけるほか、音楽系専門学校でベース、アンサンブル、音楽理論の講師を務める。
もうひとつの顔はテレビの同時通訳者。(海外ゴルフ中継)
趣味は鉄道の乗り歩き、バイクツーリング、ねこと遊ぶこと。